

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2016 納富信留

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

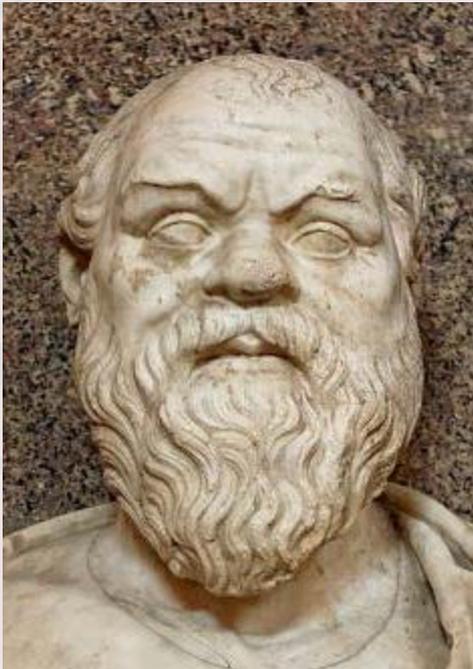


ソクラテスという「哲学者」の誕生 第1回

2016年度学術俯瞰講義 第4回

納富信留 (文学部・哲学)

紀元前5世紀後半のアテナイ



ソクラテス、ヴァチカン蔵
from Wikimedia Commons



アテナイ・パルテノン神殿
(講師撮影)

1、ソクラテス裁判という哲学事件

- ソクラテス（前469頃生）前399年に「不敬神」の罪状で死刑

- ソクラテス文学 (*Sōkratikoī Logoi*)

アンティステネス、アイスキネス、パイドン、クセノフォンらが執筆

- プラトン『ソクラテスの弁明』 (*Apologia Sōkratous*) : 真実の創作

- なぜ「**哲学**」の古典なのか？

ソクラテス裁判と『弁明』



アテナイ アゴラ
(講師撮影)



アテネ大学ソクラテス像
(講師撮影)

2、プラトン『弁明』その冒頭部

First words に全体のモチーフを込める文学技法

(納富訳)「アテナイの皆さん、皆さんが私の告発者たちによってどんな目にあわれたか、私は知りません。」(プラトン『ソクラテスの弁明』納富信留/訳、光文社古典新訳文庫、2012年、16頁)

(田中美知太郎訳)「アテーナイ人諸君、諸君が、わたしを訴えた人たちのいまの話から、どういう印象を受けられたか、それはわからない。」(プラトン『ソクラテスの弁明・クリトーン・パイドーン』田中美知太郎・池田美恵/訳、新潮文庫、1968年、8頁)

B写本

オクスフォード・
ボドリアン図書館蔵
E Dクラーク写本
(895年に制作)

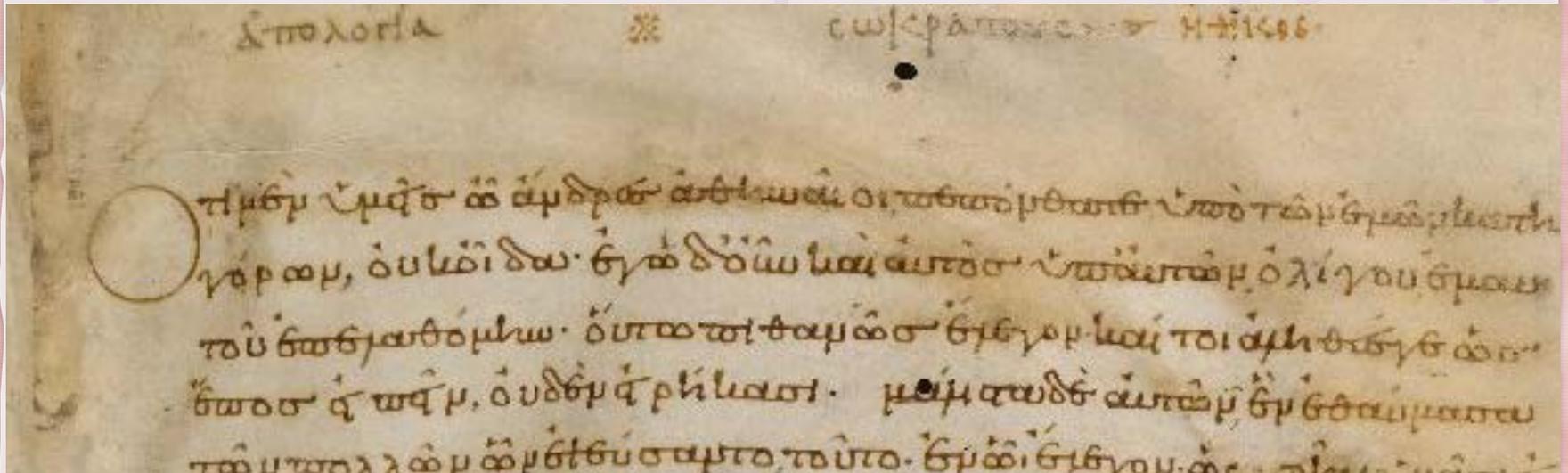
プラトン『弁明』の
最初のページ

<http://digital.bodleian.ox.ac.uk/>

© The Bodleian Library, University of Oxford.

Plato, *Apologia* (B写本) 冒頭

(部分 拡大)



ἈΠΟΛΟΓΙΑ ΣΩΚΡΑΤΟΥΣ

© The Bodleian Library, University of Oxford.

Ἵτι μὲν ὑμεῖς, ὧς ἄνδρες Ἀθηναῖοι, πεπόνθατε ὑπὸ τῶν ἐμῶν κατη-
γόρων, οὐκ οἶδα· ἐγὼ δ' οὖν καὶ αὐτὸς ὑπ' αὐτῶν ὀλίγου ἐμαυ-
τοῦ ἐπελαθόμεν, οὕτω πιθανῶς ἔλεγον. Καίτοι ἀληθές γε ὡς
ἔπος εἰπεῖν οὐδὲν εἰρήκασι. μάλιστα δὲ αὐτῶν ἐν ἐθαύμασα ...

《深読み解釈》

アテナイの皆さん。皆さんが私の告発者からどのような被害を被られたのか、あるいは被られなかったのか、私には分かりません。善き人、正しい人には彼らも、他の誰をも害することはできません。もしあなた方が彼らの告発弁論によって害されることがあるとしたら、それは、あなた方ご自身が感情なり思い込みなりから善きあり方を逸脱し、正しく判決しなかった場合のことです。

(つづき)

正しく判断し判決を下す者は、彼らの言葉によってもなんの害悪も被りません。この裁判は私の生死をめぐるものというより——それは大きな問題ではありません。私は哲学者の生を貫きますので——むしろ裁判員、つまり正義の裁き手一人ひとりの生をめぐる裁判なのです。私の弁明を聞いて判決を下される皆さん、これから裁かれ試されるのは、あなた方ご自身です。

3、古くからの告発に対して

- 「知者sophos」という批判
- デルフォイのアポロン神託

ソクラテスより 知
ある者はいない

- <謎>の解明 =
神への応答



Image by Luarvick, from Wikimedia Commons, CC BY-SA 3.0

デルフォイのアポロン神殿

https://en.wikipedia.org/wiki/Delphi_Inscription

不知の自覚

- 「知者」と思われている人々の吟味
- 相手の「無知」(知らないのに、知っていると思いついでいる状態)の暴露 → 「不知の自覚」を促す
- その人から憎まれる、若者たちが真似 → 人々から憎まれる
- 「真実」である証拠 = 真実を語ることで生じる、この憎しみ = **裁判** 自体

ソクラテス裁判の真実

- 彼を死刑にしたのは誰か？ 何故？
 - 私たちの生き方への告発「あなたは本当に知っているのか？」
 - 生き方、信念を揺るがし、覆す 彼を告発し、死刑にしたのは**私たち**
 - 「哲学者 φιλόσοφος」とは？ 一部の専門家ではない
- 知を愛し求めて生きる**人間そのもの**